

平成23年度 木と暮らしのふれあい展

秋の涼しさが感じられる十月一日（土）・二日（日）の両日、「第31回木と暮らしのふれあい展」（主催東京都・社団法人東京都木材団体連合会）が木場公園で開催され、東京事務所と大井川治山センターが出展し国有林のPRに努めました。

この催しは「森を育てたい。だから木を使おう。」をメインテーマに、都民に木とふれあえる機会を提供し、暮らしの中での木材利用を推進することを目的としています。

当日は、東京都の各木材団体等が一堂に会し、木工教室等の木とふれあう体験や木製品の展示販売、木造住宅相談、特産物の販売、アトラクション等が行われ、来場者は過去最高の五万五千人に達し、大いに賑わいました。

東京事務所では、木工品等の販売の他、小枝のモックン、木の実のリース等の森林クラフト体験を行うとともに、クイズを出題し小笠原諸島の世界自然遺産登録のPRを行いました。また、大井川治山センターは、木材を使った治山事業のパネル紹介と枝で作った輪ゴム鉄砲で射的を行い、行列ができるほど大変人気でした。

関東森林管理局東京事務所



開会式



関東森林管理局東京事務所テント



もっくん・木の実のリース作り



大井川治山センターテント

射的に並ぶ親子連れ



スカイツリーを望む



マイはし作り

木工教室